

Title	センターだより 大阪大学大型計算機センターニュース 第57号 (Vol.15 No.1)
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1985, 57, p. 1-13
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65645
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

昭和60年度上半期プログラム相談室の担当表

昭和60年度上半期のプログラム相談室の担当は次のとおりですので、プログラム相談を受けられる方は、2階のプログラム相談室で相談票に相談事項を記入のうえ御相談ください。

	10:00～12:00	1:00～3:00	3:00～5:00
月	氏名：青山 卓史 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：長谷川 恭輔 所属：阪大・工学部 専門：4, 10 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 氏名：有馬 淑子 所属：阪大・人間科学部 専門：15	氏名：家本 修 所属：阪大・工学部 専門：4, 10, 11, 14, 15
火	氏名：柏野 士郎 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：浜村 秀彦 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	X
水	X	氏名：武知 英夫 所属：阿南工業高等専門学校 専門：4, 8, 9, 10, 13, 17 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 氏名：辻本 恵一 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：斉藤 善朗 所属：阪大・工学部 専門：4, 10
木	氏名：佐々木 良明 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：西村 健二 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：高木 達也 所属：阪大・薬学部 専門：4, 8, 9, 10, 14, 18
金	氏名：多田 英一 所属：阪大・基礎工学部 専門：4, 10, 11 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 氏名：増田 浩 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：山田 稔 所属：阪大・工学部 専門：4, 10, 15	氏名：柳瀬 章 所属：大阪府立大学 専門：4, 8, 9, 10, 11, 19 20
土	氏名：田中 徹 所属：阪大・基礎工学部 専門：4, 10, 11	X	X

	10:00~12:00	1:00~3:00	3:00~5:00
月	氏名：青山 卓史 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：長谷川 恭輔 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：家本 修 所属：阪大・工学部 専門：4, 10, 11, 14, 15
火	氏名：柏野 士郎 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：浜村 秀彦 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：本村 哲朗 所属：阪大・理学部 専門：4, 10, 11
水	X	氏名：辻本 恵一 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：斉藤 善郎 所属：阪大・工学部 専門：4, 10
木	氏名：佐々木 良明 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：水野 洋 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：高木 達也 所属：阪大・薬学部 専門：4, 8, 9, 10, 14, 18
金	氏名：北村 義弘 所属：阪大・工学部 専門：4, 10 ----- 氏名：増田 浩 所属：阪大・工学部 専門：4, 10	氏名：武市 博文 所属：阪大・工学部 専門：5, 16	氏名：柳瀬 章 所属：大阪府立大学 専門：4, 8, 9, 10, 11, 19 20
土	氏名：田中 徹 所属：阪大・基礎工学部 専門：4, 10, 11	X	X

- | | | | | |
|------|------------|-----------|--------------|-----------|
| 専門分野 | 1. ALGOL | 6. PASCAL | 11. 数値計算 | 16. GMAP |
| | 2. APL | 7. PL / 1 | 12. アプリケーション | 17. ISAP |
| | 3. COBOL | 8. ファイル | 13. INQ | 18. MNDOA |
| | 4. FORTRAN | 9. 図形処理 | 14. STATPAC | 19. GPSS |
| | 5. LISP | 10. TSS | 15. SPSS | 20. CPSS |

昭和60年度プログラム指導員について

プログラム指導員は、大口利用者を有する連絡所または、ジョブ処理件数の多い連絡所のうちで最も利用頻度の高い利用者に対してセンターから依頼し、承諾を得たものです。

遠隔地の利用者で、プログラムの相談等がありましたら、下表の各連絡所所属のプログラム指導員に相談して下さるよう御願います。

プログラム指導員一覧表

氏名	所属及び連絡先	職名	指導曜日	指導場所	指導内容
富永 昌治	大阪電気通信大学 工学部 精密工学科 TEL 0720-24-1131 内線(253)	助教授	適時	研究室	FORTRAN
仲川 勇二	高松工業高等専門学校 電気工学科 TEL 0878-67-0276	助教授	適時	研究室	FORTRAN C言語
西田 修身	神戸商船大学 商船学部 機関学科 TEL 078-453-2332 内線(330)	助教授	月～金曜日	研究室	FORTRAN
土井 光暢	大阪薬科大学 物理化学研究室 TEL 0723-32-1015 内線(215)	助手	適時	研究室	FORTRAN
村上 益美	大阪市立大学 工学部 建築学科 TEL 06-692-1231 内線(3437)	助手	毎週木曜日	研究室	FORTRAN
長瀬 久明	兵庫教育大学 電子計算機室 TEL 07954-4-1101 内線(309)	助手	月～金曜日	研究室	FORTRAN TSS

氏名	所属及び連絡先	職名	指導曜日	指導場所	指導内容
平井 國友	奈良県立医科大学 医学部 TEL 07442-2-3051 内線(2270)	講師	毎週木曜日	研究室	FORTRAN
山田 勝稔	徳島大学 工業短期大学部 生産機械工学科 TEL 0886-23-2311 内線(5313)	助教授	適時	研究室	FORTRAN 数値計算
柳瀬 章	大阪府立大学 総合科学部 総合科学科 TEL 0722-52-1161 内線(2714)	教授	適時	研究室	FORTRAN
越桐 国雄	大阪教育大学 教育学部 物理教室 TEL 06-771-8131 内線(230)	助手	適時	研究室	FORTRAN
武知 英夫	阿南工業高等専門学校 機械工学科 TEL 0884-22-2010 内線(282)	助手	適時	研究室	FORTRAN INQ TSS
浅田 昌二	神戸女子薬科大学 薬学部 薬学科 TEL 078-453-0031 内線(201)	教授	適時	研究室	FORTRAN
堂垣 正博	関西大学 工学部 土木工学科 TEL 06-388-1121 内線(5682)	講師	適時	研究室	FORTRAN
古谷 博史	高知医科大学 医学部 TEL 0888-66-5811 内線(2050)	助手	適時	研究室	FORTRAN PL / I

氏 名	所属及び連絡先	職 名	指導曜日	指導場所	指 導 内 容
東山 陽一	愛媛大学 情報処理センター TEL 0899-24-7111 内線(3668)	助 手	適 時	研究室	FORTTRAN
杉山 司郎	大阪工業大学 工学部 機械工学科 TEL 06-952-3131 内線(263)	講 師	火, 水, 金 10時～ 17時	研究室	FORTTRAN
松永満佐子	四国女子大学 短期大学部 家政科 TEL 0886-65-1300 内線(169)	講 師	適 時	研究室	FORTTRAN COBOL
太田 雅久	甲南大学 理学部 物理学科 TEL 078-431-4341 内線(283)	助教授	適 時	研究室	FORTTRAN
小川 喜弘	近畿大学 理工学部 原子炉工学科 TEL 06-721-2332 内線(258)	助 手	適 時	研究室	FORTTRAN

大型計算機利用に伴う利用者旅費について

利用者が、大型計算機センターを利用する場合、地域差を少なくするため遠隔地利用者には、利用者旅費支給の制度があります。これは、大型計算機センターに出張して計算機を利用する場合に旅費を支給する制度です。

利用者で旅費の支給を希望する場合は、下記要領によりセンター所定の申請書を提出してください。（大学院生及び科学研究費による利用者には旅費を支給できません。）

記

- 日帰り旅行…第5, 第6地区で京阪神地区の利用者（注参照）は、日帰り旅行申請書を利用希望日の前月25日（必着）までに本センター共同利用掛まで提出して下さい。（日帰り出張回数は、1人当月5回以内とします。）
- 宿泊を伴うもの…京阪神地区以外の利用者は、申請書を利用希望日の前月25日（必着）までに本センターに到着するように所属連絡所及び所属地区協を通じて提出して下さい。（センター滞在日数は、3日以内で月1回に限ります。）
- 旅費は、後日、銀行振込みにより送金します。
- 出張利用に関する問い合わせは、センター共同利用掛（06-877-5111 内線2815）までお願いします。

（注）京阪神地区の利用者（日帰り旅行適用者）は次の連絡所に所属する者

（第6地区）大阪府下の全連絡所

奈良県下 〃

兵庫県下（姫路工業大学、兵庫教育大学は宿泊の対象となる）の全連絡所

和歌山県下（和歌山高専は宿泊の対象となる）の全連絡所

（第5地区）京都府下（舞鶴高専は宿泊の対象となる）の全連絡所

滋賀県下（滋賀大学（彦根市）、滋賀県立短大は宿泊の対象となる）の全連絡所

注意事項 申請書の記入の際、次の点に御留意願います。

申請者の出張利用の理由欄には、特に本センターへ出張して計算機を利用しなければならない出張理由を具体的に記入して下さい。出張理由が明確でない場合、出張を認めませんので御了承願います。

図書資料室利用の心得

1. 開室時間

月曜日～金曜日 10:30～12:00, 13:00～16:30

土曜日

ただし、祝祭日、年末年始および図書の整理を行う日などは閉室します。

2. 利用資格

- (1) 大阪大学内の本センター利用有資格者
- (2) 大阪大学内の本センター利用者（課題番号所持者）
- (3) 本センター教職員

3. 室内閲覧

閲覧は必ず閲覧コーナー内で行って下さい。なお、書架への立入りは原則として禁止します。

4. 室外貸出

- (1) 図書、資料を室外に帯出する場合は、係員に申し出て、手続きを行って下さい。その時に必要なものは下記の通りです。

大阪大学内の者	}	大阪大学附属図書館発行の図書貸出券（電算化利用者票は除く）
		身分証明書の提示
大阪大学外の者	}	課題番号の提示
		身分証明書の提示

- (2) 禁帯出指定の図書、資料（辞書、数表、便覧、雑誌の最新号、特定のマニュアルなど）を除いて、貸出し期間と冊数は下記の通りです。

単行書、製本雑誌	1週間	}	同時に合計4冊以内
上記以外	1日間		

- (3) 貸出し期間をすぎても返却されない場合は、貸出しを一定期間停止することがあります。

5. その他

- (1) 本センターの各教室内の図書についても、該当教官の同意があれば貸出します。
- (2) 閲覧、貸出し以外の目的で図書資料室内に立入らないで下さい。
- (3) 室内では他の利用者に迷惑のかからないようにして下さい。

昭和60年度研究開発計画について

昭和60年度研究開発計画を公募した結果、次の10件の応募があり、昭和60年度研究開発計画として承認されました。

なお、センターでは、引き続き研究開発を公募していますので、所定の用紙に必要事項を記入の上、共同利用掛まで提出して下さい。

申請者	所属	開発課題
笛野高之 (継続)	大阪大学基礎工学部 化学工学科	分子の非経験的HF計算の為のプログラム開発
佐々木喜男 (継続)	大阪大学薬学部 製薬化学科	半経験的分子軌道法, MNDOCの改良と整備
山本純也 (継続)	大阪大学 低温センター	熱物性値プログラム・パッケージ: PROPATH (九州大学にて開発)の整備
山本皓二 (継続)	高知医科大学 医学部	周産期データベースシステム
吉岡陽子 (継続)	四国女子大学 短期大学部	食品と栄養データベースの作成
藤原隆二 (継続)	島根大学理学部 化学科	日本語医薬品データベースの構築
石桁正士 (継続)	大阪電気通信大学 工学部	学生実態調査のデータベース
箱嶋敏雄 (継続)	大阪大学薬学部 製薬化学科	DNAデータベースとDNA配列解析応用プログラムの開発
仁木克己 (継続)	横浜国立大学 工学部	電気化学データベース
伴金美 (継続)	大阪大学経済学部 経済学科	企業情報データベースの作成

TSS コマンドの新設について (再掲載)

\$BUSY

(機能)

「<50>FILE ファイル名 -- FILE BUSY」または「FILE PRESENTLY BUSY」のメッセージが表示されて、ファイルが利用できない時に、ファイルのビジー状態を解除するコマンドである。

(コマンド形式)

\$BUSY ファイル名

(パラメータ)

ファイル名 : ビジー状態を解除したいファイル名

(説明)

\$BUSY コマンドによって、ビジー状態を解除するバッチジョブが生起されるので、「NORMAL TERMINATION」になるのを確認してからファイルを利用する。

なお、生起されたバッチジョブの正常終了の確認は、JMONI コマンドで確認する。

(例)

```
*LIST SAMPLE ..... ①
<50>FILE SAMPLE    -- FILE BUSY
*$BUSY SAMPLE ..... ②

      SNUMB = U220T
*JMON * ..... ③
U220T EXECUTING    @ 10:40:10
U220T -001 EXECUTING @ 10:40:22
U220T IN DEMAND-FILE OUTPUT WAITING @ 10:40:48
NORMAL TERMINATION
*LIST SAMPLE ..... ④
010 R=6.37FG
020 WRITE(6,100)
030 DO 1 KYORI=100,1000,100
040 T=2.0*3.1416*SQRT(KYORI)
```

∫

- ① LIST コマンドで、「SAMPLE」 というファイルの内容を表示させようとするが、「FILE BUSY」のエラーメッセージが表示されて端末にファイルの内容を表示することができない。
- ② ビジー状態を解除するために、\$BUSY コマンドを入力する。
- ③ 生起されたバッチジョブの正常終了を確認する。
- ④ 正常終了確認後、LIST コマンドでファイルの内容を端末に表示させる。

(業務掛)

アプリケーション・パッケージの追加及び バージョンアップについて（再掲載）

2月18日(月)から下記のアプリケーション・パッケージの追加及びバージョンアップを行います。なお、下記のデック構成の中の〔 〕で囲まれたオプションは、省略可能ですが、ジョブクラスに応じて最大値を指定してください。ttはCPU時間、ssssは出力行数を示しています。

- (1) TSS用離散型シミュレーション言語(GPSS/TSS-6 V2)バージョンR 4.1を新たに登録します。これは、GPSS/V-6 V2のTSS版です。なお詳細については、日本電気説明書：離散型シミュレーション言語説明書(FXE 02-4)を参照してください。

<使用例>

```
SYSTEM ?FORT N      .....①
*GPSS                .....②
```

```
*** START SIMULATION JOB # 01 ***
```

```
* PRINT (P), CENTER (C), BOTH (B), NO (N), TERM (T)
```

```
SOURCE LIST, CROSS REFERENCE ABSOLUTE LIST, GPSS REPORT
```

```
?P, P, N, C          .....③
```

```
*ENTER MODEL FILE NAME (DEFAULT IS *SRC).
```

```
? MODEL              .....④
```

```
*ENTER EXEC. REPORT FILE NAM
```

```
? REPORT             .....⑤
```

```
*** GPSS/V-6 (VR4.1) ASSEMBLY SOURCE LISTING ***
```

```

.
.
.
```

```
IDENT ? ,, E         .....⑥
LABELS, DISPOSITION?
TAB CHARACTER AND SETTING?
SNUMB # X000T
```

<説明>

- ① FORTRANサブシステムを呼び出す。
- ② GPSS/TSS-6 V2を起動させる。
- ③ 各リストの出力先を指定する。Pは端末、Cはセンタのプリンタ、Bはセンタと端末、Nは出力せず、Tはジョブの実行を中止する。
- ④ モデルが格納されているファイル名を指定する。この時キャリッジリターンキーのみを入力するとカレント

ファイルからモデルが入力される。

- ⑤ リストの出力先としてC（センタ）、B（端末とセンタの両方）を指定した場合、実行結果出力用ファイル名の入力要求がなされるのでファイル名を入力する。
- ⑥ 実行結果をデマンドファイルに出力することを指定する。また、MAILを指定すると実行結果はセンタのプリンタに出力される。

(2) 電子回路解析システム（ANAP-6）を新版（R2.3）に置き換えます。使用法は従来と変わりなく、以下のデッキ構成で使用できます。なお、詳細については、日本電気説明書：電子回路解析システム説明書（FXJ12-5）他を参照してください。

カラム1	8	16
⌘	JOB	課題番号⌘パスワード、ジョブクラス
⌘	CPROC	プログラム名〔, t t, ,, s s s s〕①
	・	
	・	ANAP-6コントロールカード
	・	
⌘	ENDJOB	

<説明>

- ① 処理するデータの大きさに応じてプログラム名を指定する。

プログラム名	共通データ領域の大きさ（DSA）
ANP20	20000
ANP40	40000
ANP80	80000
ANP12	120000
ANP16	160000

(3) タイムシェアリングライブラリ（TSS/LIB-6）を新版（R2.8）に置き換えます。これは、データをファイルから入力できないというバグが修正されています。使用法は従来と変わりなく、FORTRAN（Rモード）BIN版、FORTRAN（Rモード）HEX版、FORTRAN77（Vモード）版があります。パッケージファイルは、それぞれTLIBB、TLIBH、TLIB7という利用者マスタカタログの下に登録しています。なお詳細については、日本電気説明書：タイムシェアリングライブラリ説明書（FXQ02-3、FXQ03-3）を参照してください。

<使用例>

① FORTRAN77 (Vモード)版の場合

```
SYSTEM ?FRT7 N                .....①  
*RUN TLIB7/パッケージ名, R    .....②  
.  
.  
.
```

<説明>

- ① FORTRAN77サブシステムを呼び出す。
- ② 使用するパッケージ名を指定する。

② FORTRAN (Rモード)HEX版の場合

```
SYSTEM ?FORT N                .....①  
*RUN TLIBH/パッケージ名, R    .....②  
.  
.  
.
```

<説明>

- ① FORTRANサブシステムを呼び出す。
- ② 使用するパッケージ名を指定する。

③ FORTRAN (Rモード)BIN版の場合

```
SYSTEM ?FORT N                .....①  
*RUN TLIBB/パッケージ名, R    .....②  
.  
.  
.
```

<説明>

- ① FORTRANサブシステムを呼び出す。
- ② 使用するパッケージ名を指定する。

(システム管理掛)